１　指導者　加藤　慎也

２　単元名　「明治の国づくりを進めた人々」

３　本単元で身に付けたい資質・能力

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No | 本単元で目指すレベル | **１** | **２** | **３** |
| ① | 知識及び技能 |  |  | ○ |
| ② | 思考力，判断力，表現力 |  |  | ○ |
| ② | 共感的な人間関係 |  |  | ○ |
| ③ | チャレンジ精神 |  |  | ○ |

４　単元設定

（１）単元概要

本単元は，学習指導要領解説「社会科の目標及び内容（２）の(ケ) を受けて設定したものである。

(ケ)　黒船の来航，廃藩置県や四民平等などの改革，文明開化などを手掛かりに，わが国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解すること。

本単元では，倒幕をなし遂げた維新の志士たちが明治の新政府を立ち上げ，近代国家の成立に向けて様々な改革に取り組む様子とそれに伴う世の中の変化を理解することをねらいとしている。

明治新政府は天皇を中心とする中央集権国家を築いていった。その後，版籍奉還や廃藩置県・四民平等等の倒幕直後の諸政策の成立の過程，また，岩倉使節団の一員として欧米視察に赴いた大久保利通，木戸孝允らが，国力の要である「軍事力」と「経済力」の充実に向けて「富国強兵」「殖産興業」をスローガンに掲げ，軍事と経済を重視した国づくりについて，資料を比較，整理しながら学習する。

明治維新をしたこの時代は，新たな時代を切り開くために，多くの人物が登場し，多くの改革を行っている時代である。世の中をこうしていきたいという強い想いを一人一人の人物がもっており，様々な立場で物事を考えることができる単元であるといえる。

（２）単元目標

〇黒船の来航，廃藩置県や四民平等などの改革，文明開化などを手がかりに，我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解し，目的に応じた方法で分かりやすくまとめることができる。

（知識・技能）

〇黒船の来航，廃藩置県や四民平等などの改革，文明開化などを関連付けて，学習課題や予想などを考え，適切に表現することができる。

　　　（思考・判断・表現）

〇幕末から明治維新にかけての世の中の動きについて予想をしたり，学習を振り返ったりして，学習課題を追求し，解決しようとしている。

　　（主体的に学習に取り組む態度）

（３）児童実態及び指導の手立て

　　本単元に対するアンケート調査と単元テスト（令和３年７月　日）の結果は，以下の通りであった。

１　歴史上の人物が行ったことを理解している。（１学期）　　肯定的評価　 　　％

２　授業の中で，歴史上の人物の想いや願いについて予想して考えるのが好き。

　　　　　肯定的評価　　　％

３　授業では，自分の考えと友達の考えを比べながら聞くことができる。

肯定的評価　　　８３％

４　授業中，進んで資料を集めたり取材をしたりすることができる。

肯定的評価　　　８３％

　本学級の児童は，児童アンケートより，１学期に学習した歴史上の人物を覚えており，その人物が何を行ってきたのかをおおまかに覚えることはできている。

授業の中で，歴史上の人物の想いや願いについて自分の考えを書くことが好きだと答える児童は多いとは言えない。歴史(話)の中に自分自身を投影して考えることがまだできていないといえる。また，クラスの実態として，情報を比較して考えること（論理的思考力）を苦手としている児童が　％もおり，課題があるといえる。

指導にあたっては，まず学習課題を「たった２０年で，世の中はどうしてこんなに変わったのだろう？」と設定し，東京の同じ場所を江戸・明治・令和の３つの資料を提示することで，江戸時代から明治時代になる短時間の中で，大きな変化があったということをつかませていきたい。次に，この時代には，多くの人物が登場してくる。そのため，誰が何をどのような目的で行ったのか分からなくなる児童が多く出てくることが予想される。そのため，授業では，この時代に「自分たちが生きていたら，どう決断するか？」という価値判断や意思決定をさせることで，遠い時代の話として捉えさせないようにさせていきたい。複雑な時代背景があり，立場を明確にするのが難しいことも予想されるので，必要な予習や復習など(自主学習)をさせたうえで授業に臨ませていきたい。

　　ICTの活用においては，教師がスライドや映像を流して資料提示をしたり，総合的な学習の時間と関連させ，児童がクロームブックのジャムボードで自分の考えをまとめたりする活動を仕組んでいく。また，毎時間の振り返りでフォームを使って「時代を変えたのは誰だ？明治維新No.1総選挙」のアンケートを行い，歴史上の人物について自分目線で比較をしながら考えていけるようにする。

（４）単元構想の工夫

明治維新が行われた本単元では，今まで学習してきた時代と異なり，同じタイミングで多くの歴史上の人物が一度に登場してくる。そのため，単元構想を「時代を変えたのは誰だ？明治維新No.1総選挙」として，たくさん登場してくる人物の中から自分が一番好きな人物を毎時間選択させていく。この活動を行っていくことで，歴史上の人物がどのような考えを持って，どのようなことを行ったのかをそれぞれ比較して考えていくことができる。単元末には，最終的に最も活躍をしたと思う人物を一人選択し，「この人物のこういった考え方が好きだ。」という視点で瓦版（新聞）を作らせていきたいと思う。

また，総合的な学習の時間「クロームブックを使えるようになろうプロジェクト」との関連も図り，ジャムボードなどに自分の考えをまとめる機会も数多く設定していきたい。

（５）資質・能力とのかかわり

「思考力・判断力・表現力」に関して，「なぜ？」「どうして？」と思える問いを自ら設定することができ，課題を解決するために資料を読み取り，自分の意見を持って最終的に判断したり予想をしたりすることができる力を付けたい。

　「共感的な人間関係」に関して，友達と考えを伝え合ったり，関わったりする活動の中で，自分と異なる意見や立場も大切にしながら話し合い，互いのよさを認め合い，高めようとする力を身に付けていきたい。

「チャレンジ精神」に関して，本単元は多くの歴史上の人物，出来事などが出てくるため苦手意識を持ちやすい単元である。そのため，「自分だったらどうする？」といった児童がその時代の中にいるかのように感じることができる問いを多く設定し，他人事ではなく自分事としてとらえていけるようにしていくことで，チャレンジ精神を高めていきたい。

６　知識の構造図

明治政府は，外国の力の大きさを知った武士たちを中心に，欧米諸国に負けない強い国を作るために，欧米の文化を取り入れつつ，諸改革を行って国の仕組みを整え，我が国の近代化を進めた。

人々の生活や文化は，明治維新により，文明開化として大きく変わった。

外国の力の大きさを知った武士たちが，強い国を作るために，明治維新を進めた。

明治政府は、欧米から学び、様々な改革を行うことで、国の仕組みを整えた。

②新政府は、富国強兵を進めるために、殖産興業・徴兵令・地租改正・学制などの取り組みを行った。

①新政府は、中央集権国家を作るために、版籍奉還・廃藩置県を行った。

①政治や外国との関係、まちの様子など社会全体の大きな変化を明治維新という。

②身分制度が改められ、すべての国民は平等であるとされた。

③西洋風のものが外国から入ってきて国内に広がった。

①ペリーが開国を求め、井伊直弼が不平等条約を結び、人々の生活が苦しくなった。

②薩摩藩・長州藩が坂本龍馬(土佐藩)によって、協力して新政府を作る運動を行った。

③徳川慶喜は、新しい政府をつくる動きに押されて、政権を天皇に返還した。（大政奉還）

④新政府は、明治天皇の名で五箇条の御誓文を作成した。

６　単元計画（全１０時間）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 小単元名 | 学習内容 | 本時のねらい | | | ・児童の「学び」の姿  （例）～している。  ☆ICTの活用 | 育成できる資質・能力 | | |
| 知 | 思 | 学 |  | ② | ③ | ④ |
| 学習計画を立てよう（１） | 〇文明開化による人々の暮らしの変化を知り，学習計画を立てる。 |  |  | ○ | ・資料を比較することを通して，疑問を持ち，学習課題を設定している。  ☆ジャムボードを使って，江戸時代から明治時代の変化を見取ったことをふせんにまとめる。その後，仲間分けをする。 | ○ | ○ |  |
| 江戸時代はどのように終わりを迎えたの？（２） | 〇黒船が来航したときの日本の様子について調べ，日本は開国すべきか鎖国すべきか考える。 |  | ○ |  | ・日本が開国すべきか，鎖国を続けるべきかを国内の様子を関連付けて考え，判断している。  ☆ジャムボードを使用して，自分の立場をはっきりさせたうえで話し合いを行う。 | ○ | ○ |  |
| 〇倒幕運動について知り，倒幕運動に関わった人物の思いを考える。 | ○ |  |  | ・倒幕運動の広がりについて理解し，倒幕運動に関わった人物の立場になって考えている。  ☆ジャムボードを使って人物関係図を書く。 | ○ |  | ○ |
| 明治政府がめざした新しい政治とは？（６） | 〇明治政府（新政府）が目指した社会について考える。 |  | ○ |  | ・明治政府（新政府）が目指したことを五か条の御誓文から読み取り，それぞれの立場（元大名・武士・庶民など）から賛成か反対かを考えている。  ☆ジャムボードを使用して，自分の立場をはっきりさせたうえで話し合いを行う。 | ○ | ○ |  |
| 〇岩倉使節団が外国から学んだことは何かを考える。 |  | ○ |  | ・岩倉使節団の報告書や写真資料をもとに，これからの日本にとって必要な政策が何かを判断し，説明している。  ☆スライドを用いて資料提示を行う。ジャムボードを使ってクラスの意見を集約する。 | ○ | ○ |  |
| ○大久保利通が帰国して行ったことについて考える。 | ○ |  |  | ・富岡製糸場などの特徴をもとに，殖産興業・富国強兵により強い国づくりを目指した明治政府の目的を理解している。  ☆Google earthを用いて，場所の確認を行う。 | ○ |  | ○ |
| 〇地方(三原市)に国の政策がどのように伝わってきたのかを考える。 |  | ○ |  | ・明治政府の政策が教育を中心に少しずつ地方にも広まったことを理解し，理由を説明している。  ☆ジャムボードを使って，政策の順番を予想する。 | ○ | ○ |  |
| 〇政府の改革に不満を持つ人々の活動について考える。 | ○ |  |  | ・板垣退助や大隈重信の働きや自由民権運動の広がりを，絵や地図，文書資料などを活用して調べている。 | ○ |  | ○ |
| 〇伊藤博文がどのような思いをもって大日本帝国憲法をつくったのかを考える。 | ○ |  |  | ・大日本帝国憲法と日本国憲法を比較して，特徴を読み取っている。  ・伊藤博文たちが大日本帝国憲法に込めた思いについて読み取っている。 | ○ |  | ○ |
| 学習を振り返ろう（１） | 〇単元に登場した人物を一人選択して瓦版にまとめる。 |  | ○ | ○ | ・明治維新に関わった人物について様々な視点から瓦版にまとめている。  ☆インターネットなどを検索して，選択した人物のエピソードなどを調べる。 | ○ |  | ○ |

１　学　年　第６学年　男子１０名　女子１１名　計２１名

**とにかく不安定！**

２　本時の目標

　岩倉使節団が行ったことが良かったかどうか判断したり，資料の読み取りを行ったりすることで，国内が大変な時期にわざわざ長期間日本を離れて世界を見てきたことには意味があり，これからの日本にとって重要な政策だったということを理解することができる。

３　本時の「学び」を実行する振り返り　　と　　評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ☆『まとめの後半部分を自分で書く。』  岩倉使節団は，国内が大変な時期だったけど条約を改正するために国を離れた。目的を達成することはできなかったが，（例）日本と外国の間には大きな差があることを知り，日本がこれからするべきことを様々な国から学ぶことができた。 | A | 「～，工業の発展，教育の充実…などが大切だと学ぶことができた。」  （具体的なまとめ） |
| B | 「～，いろいろ・たくさん学ぶことができた。」  （抽象的なまとめ） |
| C | まとめを自分の言葉で書けない。 |

４　板書計画

|  |
| --- |
| 11/ めあて  実際に見て…  ・日本ヤバイ…。  ・こんなに差があるか。  ・やらないといけない！  なぜ，このような国が不安定な時期に大久保利通たちは10カ月も国を離れようと思ったのだろう。  大久保　　 西郷      メンバー   1. 岩倉具視 2. 大久保利通 3. 木戸孝允 4. 伊藤博文 5. 山口尚芳   総勢１００名程度    学んだことは  ・工場の重要性  ・蒸気　　・お金　・兵力  ・議会　　・教育  ・外国に負けない国を作って見せる！  ・みんなが活躍できる社会にするぞ！    まとめ  **1年10か月**  目的  ・不平等条約を改正すること    岩倉使節団は，国内が大変な時期だったが条約を改正するために国を離れた。目的を達成することはできなかったが。  国内では  不満に思っている人。  頑張ってほしい！    買えるか，買えないかが  **はやく　かんたんに**  わかるコツは，  １つが１００円で買えるかどうかを考えるとよい。  アメリカ  **絶対に無理！**と断られる。    帰らない  帰る  アメリカ  **絶対に無理！**と断られる。 |
|  |

５　本時の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習  展開 | 「学び」の過程 | ◇全体や個への手立て  ◆他教科等との関連  ☆ICTの活用 |
| ・児童の思考の深まり（具体） ○教師の問い（具体) |
| 課題設定・情報収集 | 問題場面  の設定  課題設定  解決の見通し | ○新しい政府を作った時の大久保利通や西郷隆盛の気持ちはどんな気持ちだったと思う？  ・外国に負けない国を作って見せる！  ・みんなが活躍できる社会にするぞ！  ○当時の国内の様子はどんな様子だったのかな？  ・不満を持っている人が多かった。  ・新しい世の中がスタートするぞ！  ○こんな時に，国の重要メンバーが半分くらい外国に行くことを決めました。しかも，予定の期間は10カ月。  めあて　　なぜ，このような国が不安定な時期に大久保利通たちは10カ月も国を離れようと思ったのだろう。 | ☆前時までの学習で行ったFormsの投票結果を表示して，単元の目標を意識させる。  ◇前時に行った明治新政府としての政策を想起させ，国内の様子がまだ不安定だったことを確認する。  ◇岩倉使節団のメンバーを写真で確認する。  ◇現在（コロナ感染）の状況と比較して考えさせる。 |
| 整理・分析 | 自力解決  集団思考  協働学習で「学び」を確かめる | ○あなたは，このような時期に国の重要メンバーが外国に行くことは良いことだと思いますか？良くないことだと思いますか？  ＜良いこと＞　　　　　　　　＜良くないこと＞  ・この先何をやったらいいか　・国を放っていくなんて無責任。  　分からない。　　　　　　　・何が起こるかわからない。  ・外国を見てみたい。　　　　・まずは国を安定させないと。  ○ちなみに，岩倉使節団は何の目的で外国に行ったと思いますか。  ・不平等条約改正  ・外国の様子の視察  ・挨拶回り  ○実は，最初の国のアメリカで条約改正は絶対無理だと言われてしまい，すぐに挫折してしまいます。あなたなら，日本に帰りますか？それとも残って旅を続けますか？  　＜帰る＞　　　　　　　　＜帰らない＞  ・意味がない　　　　　　　・悔しいけど，力がないのでマネで  ・日本が心配　　　　　　　　きるところがないか調査する。  ・腹が立つから　　　　　　・何もないまま帰れない。  ○この後，岩倉使節団は１年10か月日本に帰って来ず，旅を続けました。その様子をスライドで見てみましょう。  　これを自分の目で見た大久保利通たちはどんな思いを持ったのだろう？  ・日本ヤバイ…。　　・もっと頑張らないといけない。  ・こんなに世界と差があるのか。  ・やらないといけないことばかりだ…。  ・条約改正なんて夢のまた夢だよ。  ○大久保利通たちは，外国から何を学んだのでしょう？  ・お金（財政）　　　・学校（教育）  ・工場　　　　　　　・議会  ・兵隊，軍  ○あなたは，このような時期に国の重要メンバーが外国に１年10か月も行ったことは良かったと思いますか？良くなかったと思いますか？  ＜良かった＞　　　　　　　　＜良くなかった＞  ・学ぶことが多かった。　　　・国内が不安定になった。  ・今の日本の状況が知れた。　・さすがに長すぎる。 | ◆総合的な学習の時間「クロームブックを使えるようになろうプロジェクト」との関連を図る。  ☆Jamboardを使って自分の立場（意見）をはっきりさせる。  ◇外国との関わり（日米修好通商条約）についておさえる。  ☆Jamboardを使って自分の立場（意見）をはっきりさせる。  ☆スライドを使って，岩倉使節団が見てきたものを紹介する。  ◇ノートにメモを取りながらスライドを見させる。  ☆Jamboardを使って，大久保利通が学んだと思うことを付箋に書かせて分類する。  ◇国内に戻ってきたときの様子（士族がかなりの不満を持っていたこと，政府も征韓論を実行しようとしていたこと）を伝える。  ☆Jamboardを使って自分の立場（意見）をはっきりさせる。最初の意見から変化があったかを尋ねる。 |
| まとめ | 「学び」のまとめ | ○本時のまとめをしましょう。  まとめ　岩倉使節団は，国内が大変な時期だったが条約を改正するために国を離れた。目的を達成することはできなかったが，日本と外国の間には大きな差があることを知り，日本がこれからするべきことを様々な国から学ぶことができた。 | ◇まとめの前半部分は全員で確認しながらまとめ，線の部分は自分の言葉でまとめさせる。 |
| 実行・  振り返り | 「学び」の実行  「学び」の振り返り | ○明治維新No.1の人物は誰だと思いますか。振り返りましょう。  ・大久保利通…海外に自ら行って学んでいるからすごい。  ・坂本龍馬…やっぱり大政奉還などのアイデアは思いつかない。  ・勝海舟…西郷隆盛と話し合って東京の町を守ったから。 | ☆現在の状況で明治維新総選挙No.1は誰だと思うかをFormsのアンケートで投票する。 |